

小学六年

国語

解答と解説

1

問一	エ	21
問二	罪悪感とか	22

問三			
い	幸	ー	子
に	せ	ト	ど
伝	の	ナ	も
え	た	ー	を
あ	め	で	育
う	に	あ	て
こ	必	り	る
と	要	、	う
が	な	子	え
で	こ	ど	で
き	と	も	の
る	を	の	対
存	お	成	等
在	た	長	な
。	が	や	パ

問四	④	27
ウ	⑧	28
エ	問五	29
イ	i	30
ウ	ii	31
ア	iii	
オ		

問六	イ	32
問七	イ	33
オ	問八	34
ア	問九	35
ア	問十	36
し		
て		
いた。		

⑥	⑤	④	③	問十一	問八	問四	問一
根	①	①	①	イ	自	イ	相
幹	軽	ウ	春		分	問五	手
⑦	快	②	②		の	1	と
⑧	②	イ	冬		あ	エ	オ
段落	移	③	③		り	2	ー
⑧	植	才	秋		問九	ウ	問二
追	③	④	④		世	3	ア
加	幕	ア	夏		の	ア	問三
⑨	府	⑤	⑤		中	問六	ガ
欲	④	工	夏		の	ウ	ラ
⑩	建				期	問七	ス
勢	造				問十	ウ	張
	貿				内		り
	易				面		

(配点)

①〔問三〕 7点、〔問四〕 各3点、〔問五〕 各2点、他各5点
 ②〔問五〕 各2点、他各5点
 計150点

【解説】

① いうみくの『蒼天のほし』（双葉社）から出題しました。

二十二歳の保育士、斗羽風汰が、さまざまな家庭から預けられた子どもたちと触れ合いながら保育士として奮闘する様子を描いた場面です。

問一

B1 理由 比較

「クレームを言ってくれる保護者のほうがラク」という坂寄先生となにも言ってくれない保護者のほうがいいという風汰の、その後の会話に注目しましょう。「思っていることをことばにしてくれたら、なにをしてほしいのか、どんなことに困っているかもわかる」「わかれば、それをどうすればいいのか考えることができる」という発言から、坂寄先生はクレームをつけられた後に自分たちがすべき対応がつかみやすいという点でクレームを言ってくれる保護者のほうがラクだと言っていることがわかります。したがって、エが正解となります。ア「それだけで保護者からの信頼を得ることができる」、イ「自分たちの仕事に認められやすくなる」、ウ「ショックを受けたリムカッとしたりすることが、それより後の自分の仕事に役立つ」がそれぞれ誤っています。

問二

B1 具体化 関係づけ

——線②は園長先生の言葉です。この言葉は、子どもの幸せを考えると、親が幸せであることも大切であるという意味です。この言葉を坂寄先生がどうとらえているかは、その後、坂寄先生の発言を見るとわかります。2ページ上段にある坂寄先生の発言を追っていくと、保護者について「罪悪感

とか不安をどこかに感じて子どもを預けている」と表現している部分が見つかります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問三

B2 具体化 推論

保育園が寿司屋でもラーメン屋でもないという言葉にこめられた意味は、直後の園長先生の発言で明らかになっています。保護者に対し、保育園側の方針に合わなければ来ないでくださいとは言えないし、言っではいけないというのが園長先生の考えです。園長先生はそれに続く部分で保護者について「子どもを育てるうえで対等なパートナー」と表現し、お互いに子どもの成長や幸せに必要なことを伝えあう必要性について述べています。この部分をまとめましょう。

※設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

問四

A2 知識 比較

語句の意味を答える問題です。原則として辞書の意味にそったものが問題になります。辞書の意味をもとに、文章中でどのように使われているのかをとらえましょう。また、知らない言葉は、できるだけ例文の形で覚えるようにしましょう。

④「のんでくれた」の「のむ」は、相手の要求を受け入れることを表す表現です。したがって、ウが正解となります。

⑧「やみくもに」は、漢字で「闇雲に」と書き、深く考えもせず、むやみに物事を行うことを指します。したがって、エが正解となります。

問五

B1 関係づけ 比較

適当な副詞を空らんに入れる問題です。

i 直前に「坂寄も」とあることに注目しましょう。さらに前の部分で、園長先生が風汰の目を見ていたずらそうに笑っています。風汰はクレームを受けてショックを受けていますが、園長先生にとってはそれほど大きな問題ではないと感じられることだったので、大真面目にとらえる風汰に悪いとは思うものの「どうでもいいこと」と表現しています。坂寄先生も同じ気持ちなので、それほど大きな話でもないことを大きく受け取っている風汰の様子をみて笑っているのです。したがって、ウ「おかしそうに」が入ります。

ii お父さんに抱き上げられた空君がうれしそうにしている様子が描かれています。大好きな父親に抱きかかえられた子どもの反応としてふさわしい表現はア「くすぐったそうに」です。

iii 空君のお父さんの機嫌がよかったことについて坂寄先生からたずねられた風汰が「そっすか？」と返答している場面です。空君のお父さんの機嫌がよかったのは、風汰とのやりとりで自分が作ったカレーを空君がとても気に入っていることを知ったからです。風汰はそうなることを期待

してお父さんにその話をしているため、お父さんの機嫌がよかった理由に気づいています。気づいているにもかかわらず「そっすか？」と反応しているのです。したがって、オ「とぼけたように」が入ります。

問六

B1 具体化 比較

——線⑤の直前で、風汰は「つてことは、逆にラッ」と言いかけています。あまりやりたくないおむつ替えの業務を他の保育士にやつてもらえる状況であることに気づいてこのようない方になっていることを読み取りましょう。二人が同時に風汰を見た後で風汰が「へへつと笑って」いることから、二人はあまりやりたくない業務を他の人にやつてもらえる状況を喜ぶ様子をたしなめるように風汰の方を見たと考えられます。したがって、イが正解となります。ア「風汰をはげまそう」、「ウ「風汰の芯の強さを頼もしく思う」、エ「ずるいと感じて非難しよう」がそれぞれ誤っています。

問七

B2 具体化 比較

園長先生の考える保育園としてのあり方や坂寄先生の考える「親への支援」を聞いた風汰が、自分なりに仕事の中でそれをやってみようとしている場面です。空君のお父さんは園での様子を伝えようとする風汰に対してことばを遮ったり、トイレに行っている空君を待つように言われて小さく舌打ちをし、スマホをとりだして見始めたりしています。風汰の意図に対して乗ってこないお父さんに対し、風汰はめげずに話しかけ続けています。以上のことから、イ・オが正解となります。ア「自分が手厚い保育を提供していることを伝えたい」、

ウ「育児の大変さを察にしておきたい」、エ「空君より仕事やスマホに夢中になっているお父さん」がそれぞれ誤っています。

問八

B1 理由 比較

散歩中に気になったことを伝えようと思っていたのにそうしなかった理由を、風汰自身がどのように考えているかを意識して読み進めましょう。4 ページ下段に「今日のお父さんと共有するのは、不安ではなく喜びがいい」とあります。風汰はこの場面で、散歩中に気になった少し不安になるような内容をお父さんに伝えるより、カレーの話をするほうがよいと判断したのです。したがって、アが正解となります。イ「都合がよいと思った」、ウ「仕事のことで頭がいっぱいになっているお父さん」、エ「空君に不利益があるかもしれないと思った」がそれぞれ誤っています。

問九

B1 関係つけ

⑨の前後には、最後に帰る親子は姿が見えなくなるまで見送り、十分ほど玄関の明かりをつけておく、という園長先生の考えた気配りが書かれています。これは、お母さんが振り返ったときに暗くなった保育園を見て淋しい気持ちにならないようにするための配慮です。この場面は夜中の二時ですから、外は暗い状態です。その状態で淋しさをまぎらわせてくれるもの、ということでア「夜中のコンビ二」が当てはまります。

問十

B1 関係つけ

抜けている文を元の場所に戻す問題です。最初に抜けている文自体からできるだけ多くの情報を見つけたうえで、それらをもとに本文をていねいに探しましょう。「二人」「幸せそうに見えた」から、空君のお迎えで、風汰が二人を見ている場面であることが予想できます。4 ページ下段をていねいに探すと、「お父さんに抱き上げられた空君も、抱きかかえたお父さんも、いい顔をしていた」という表現が見つかります。脱文はこの直後に戻ります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

②

池田喬「嘘をつく」とはどういうことか（筑摩書房）から出題しました。

嘘をつかないような生き方をしている人について、ドイツの教育哲学者オットー・ボルノーの言葉を参考にしながら、「正直」「率直」「誠実」をキーワードに考察していく文章です。

問一

B1 具体化 関係つけ

「尊敬の念を込めて正直と呼ばれる人」と同じ内容の表現を探して読み進めていくと、9 ページ上段に「『あの人は正直だ』と賞賛を込めて言われる人」という表現が見つかります。それに続く部分で、そのような人について「普通の人であれば嘘をついてしまうような場面でも、ぐっと思いとどまっでそうしない、そういう精神的な力をもっている人」と説明されています。さらに読み進めると「自分が信じていることを正直に言ったり、相手とオープンに話し合うために努力し

たりする人」とあります。空らん前後で並列の「たり」が使われていることにも着目しましょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問二 B1 具体化 比較

「特別な内面性」ができてあがる前の状態は、8ページ下段に「まだ嘘をつくことのできない子ども」に見られる状態である、と説明されています。ここでは、「他人に対する不信を知らず、内面を隠すことを知らない状態」とも書かれています。これに対し「特別な内面性」ができてあがった状態とは、同じく8ページ下段の後半で「自分が信じていることを隠しておくことができる」る状態であると説明されています。このことから、アが正解となります。イ「他人に対して不信任を抱いておらず」、ウ「自分の内面を他人に示してもよいと考える」、エ「事実と異なることは言わないという強い意志をもった」がそれぞれ誤っています。

問三 B1 置換

——線③に書かれた状態は、ボルノーが言うところの「率直」にあたる状態です。8ページ上段に書かれている内容でいえば、「自分や他人を守るために必要な場合でも、思ったことをそのまま無防備に口にする」状態といえるでしょう。内面ですべてがそのままだと出てくる状態です。この部分に「馬鹿正直」という表現がありますが、字数条件が合いません。そのまま読み進めていくと、8ページ上段の後半に「ガラス張りの状態」という表現が出てきます。字数条件と内容をと

もに満たしており、これが正解となります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問四 B1 関係づけ

④の直後に、「内面を隠したり、他人を騙す意図をもつたりすることができると限りで、『嘘はつかないぞ』という決断もできる」と書かれています。このことを言い換えると、嘘をつくことができる存在だからこそ、「嘘をつかない」という決断もできる、という意味で解釈することが出来ます。したがって、イが正解となります。

問五 B1 関係づけ 比較

空らんにあてはまる接続詞を考える問題です。まずは接続詞そのものの働きをつかみ、前後内容との照らし合わせによってふさわしいものを選びましょう。

《1》の直前には、「嘘はつかないぞ」という自発的な意志を働かせる条件として、内面を隠したり他人を騙す意図をもつたりできることが挙げられています。直後でこれを「自分の都合が悪くなれば嘘をつく誘惑にかられてしまったり、本当のことを言ったら周りにからかわれると分かれば嘘をついてその場をしのぐ技術をもっていたり」と言い換えています。同じ内容を別の言い方で表現していることから、エ「つまり」が入ります。

《2》の直前には、「自分自身を見捨てる」とはどういう

う状態なのかということが書かれています。これに対して直後には、自分自身を見捨てそうになっても、「自分自身に対してとらわれず自由な態度」をもつ可能性が残されていることが書かれています。前後で対照的な内容を述べていることから、ウ「しかし」が入ります。

《3》の前の部分には、嘘をつくという実践が社会の価値判断に順応することによって起こることであるという内容がいくつか書かれています。《3》に続く部分の終わりに「この場合にも社会の価値判断に沿った対応という面が見られます」とあることから、この部分も列挙するうちのひとつとらえることができます。したがって、似たような内容を並べるア「さらに」が入ります。

問六

B1 関係つけ 比較

嘘をつけば⑤には人間関係を維持できそう、という表現から「とりあえずその場合は」というニュアンスが読み取れます。これにあてはまるのはウ・エの「表面的」です。また、⑨の前後を確認すると、子どもの成長に「社会化され、世の中の期待や価値判断に順応していくこと」と、子どもの成長に「自分のやっていることは自分らしくないという感覚をもつこと」が同時に含まれていることが示されています。成長するという言葉の意味と「自分のやっていることは自分らしくないという感覚」が一見矛盾するように感じられることから、⑨には「逆説的」が入ります。以上のことから、ウが正解となります。

問七

B1 具体化 比較

——線⑥の次の段落を読むと、本当のことを言うこと——「自分自身に対してとらわれず自由な態度」を取ることである、ということがわかります。これをもとに検討すると、ウが正解となります。ア「本音を見せないようにし」、イ「上手な嘘をつき続ける」、エ「自分が本当はどうしたいのかということ」を極力考えない」がそれぞれ誤っています。

問八

B1 具体化 関係つけ

本文の別の場所で、「誠実さ」という言葉そのものについて説明している部分を探しましょう。すると、10ページ下段の前半に「誠実さは、自分のあり方に悩み、自分らしさを求めるその心の働きに対する名称だと言える」という表現が見つかります。字数条件と合わせて、必要な部分を抜き出しましょう。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問九

B1 具体化 関係つけ

——線⑧の直後に、ボルノーの言葉として「不誠実の精神に引き入れられることは、個人が、権威をもった集団からの期待やその集団の価値判断に順応する傾向において生じる」ということが説明されています。ただしこの部分からは十一字のちよūdよい表現が抜き出せませんから、同じようなことを別の言い方で表現している部分を探しながら読み進めます。この後の部分で、嘘をつくということについて「社会の価値判断に順応」することがきつかけになる例が続いており、

それを子どもの成長に関連づけて「子どもが成長するという
ことには、社会化され、世の中の期待や価値判断に順応して
いくことが含まれます」という説明が続いています。したがっ
て、この部分から「世の中の期待や価値判断」という十一字
の表現を抜き出せばよいことになります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解と
します。

問十

B1 関係づけ

嘘をつくことが何をもちここの実践なのかを問う問題です。
この空らんに入る言葉を考えるうえで、正反対の状態、すな
わち嘘をつけない状態の人が「もっていない」ものは何かを
考えてみましょう。8 ページ下段で「まだ嘘をつくことので
きない子ども」、すなわち「率直」な状態の子どもにふれ、「特
別な内面性を形成し遂げる以前の状態」であると説明されて
います。したがって、このような嘘をつくことのできない子
どもは「内面」を持つていないことになります。ここから考
えると、嘘をつくことは「内面」をもつことの実践であると
いえます。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解と
します。

問十一

B2 抽象化 比較

本文の内容と合っている選択肢を答える問題です。本文の
どの部分と対応した選択肢なのかを考え、必ず本文に戻って、
選択肢の内容と照らし合わせて正誤を考えましょう。

ア『馬鹿』という表現はついても正直な人』は、8 ペー

上段の内容と合いません。ウ「嘘をつくのとは仕方ないこと
である」は、9 ページ下段の内容と合いません。エ「本当の自
分はどのような存在なのか」は、10 ページ下段の内容と合
いません。

イの内容は9 ページ上段に書かれていることと合っていま
す。

3

A2 知識

俳句の季語が表している季節を答える問題です。原則とし
て、食べ物しなの旬などふだんの生活感覚に合った季節を選ぶこ
とになります。旧暦では一〜三月が春、四〜六月が夏、七
〜九月が秋、十〜十二月が冬になることに注意し、現代の生
活感覚とずれたもの(例 朝顔、すいか は秋の季語)は個
別に覚えるようにするとよいでしょう。

4

A1 知識

例文の空らんには当てはまる外来語を答える問題です。外来
語を文脈から切り離して意味だけを覚えるのではなく、どの
ような場面でのような言葉とともに使われる言葉なのかを
覚えておきましょう。